

鹿国道、建協

# 「おやじの日」で仕事見学

## 働く父から建設の魅力

趣向を凝らしたイベントに満足の参加者！出水市の現地で



九州地方整備局鹿児島国道事務所(川俣裕行所長)と県建設業協会(川畑俊彦会長)は6日、出水市高尾野町の南九州西回り自動車道出水阿久根道路の鹿児島3号上水流域地区1工区舗装現場で、

お父さんの仕事現場見学会「おやじの日」を開いた。(1面参照) 4回目となる今回は、出水・阿久根道路安全連絡協議会(井戸慎会長)の会員21社から約82人も家族らが参加。同事務

測量機器での距離当てクイズなどがあつた。タイヤ式ローラーに試乗体験した三石優奈さんは「初めて見るものばかりで楽しかった」、いとこの怜奈さんは「道路をつくってみたいになった。

所の小林守建設監督官が現場の施工状況を説明し、石橋賢一技術副所長は子供たちに「いろいろな体験ができるので楽しんで」と優しく語り掛けた。

お父さんに教えてもらって設計してみたい」と笑顔で話した。優奈さんの父親である三石昌宏氏は現(高尾野クレーン)は現場に触れることで、将来の選択肢の一つとして建設業も考えてほしい」と期待を寄せた。

文理事は「父親が頑張っている姿を見てもらって」と、建設業に興味を持ってもらいたい」と話した。

文理事は「父親が頑張っている姿を見てもらって」と、建設業に興味を持ってもらいたい」と話した。